

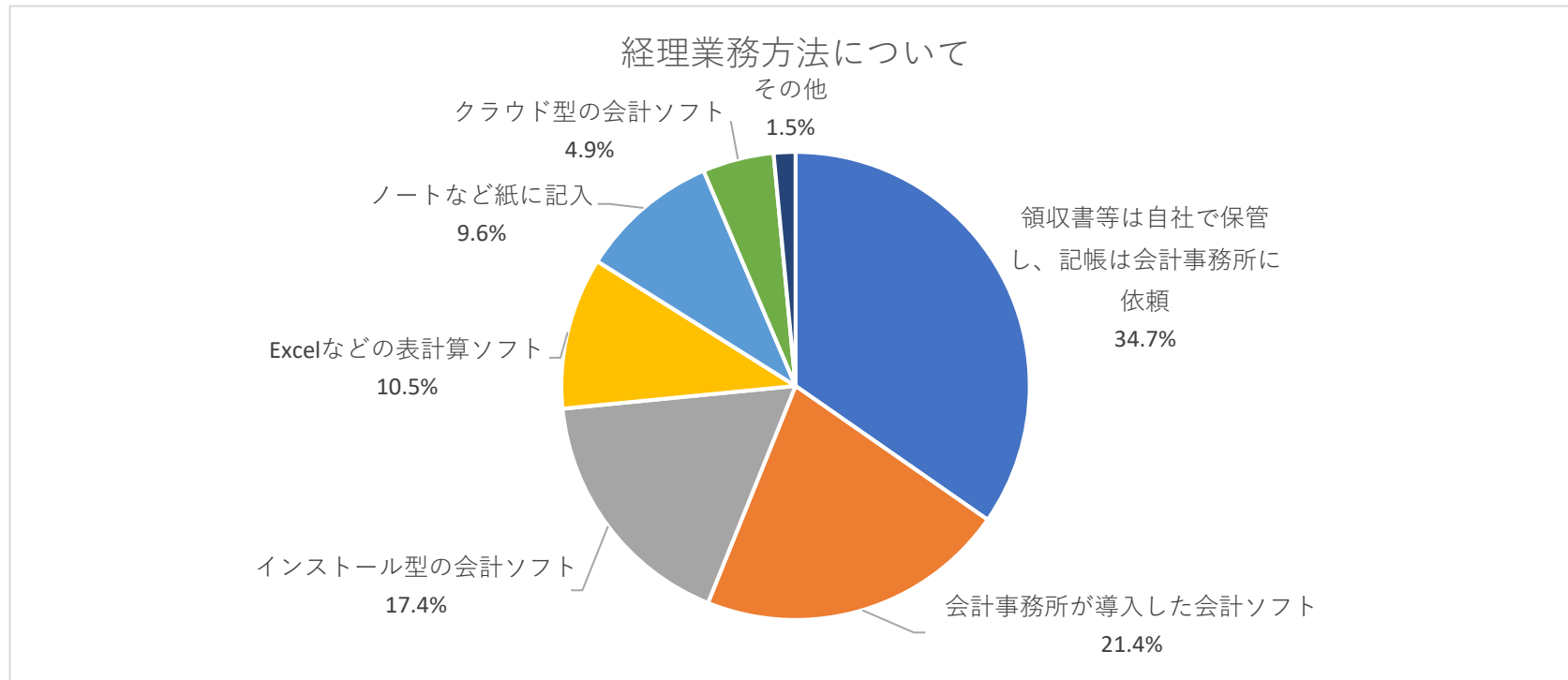
特別調査「経理業務のデジタル化について」

電子帳簿保存法改正等の税制改正が迫る中、各事業所における経理業務の現状やデジタル化の状況について調査した。

⑫経理業務の方法（その①）

【「記帳を会計事務所に依頼」は3割超 クラウド会計ソフトの利用は少なく】

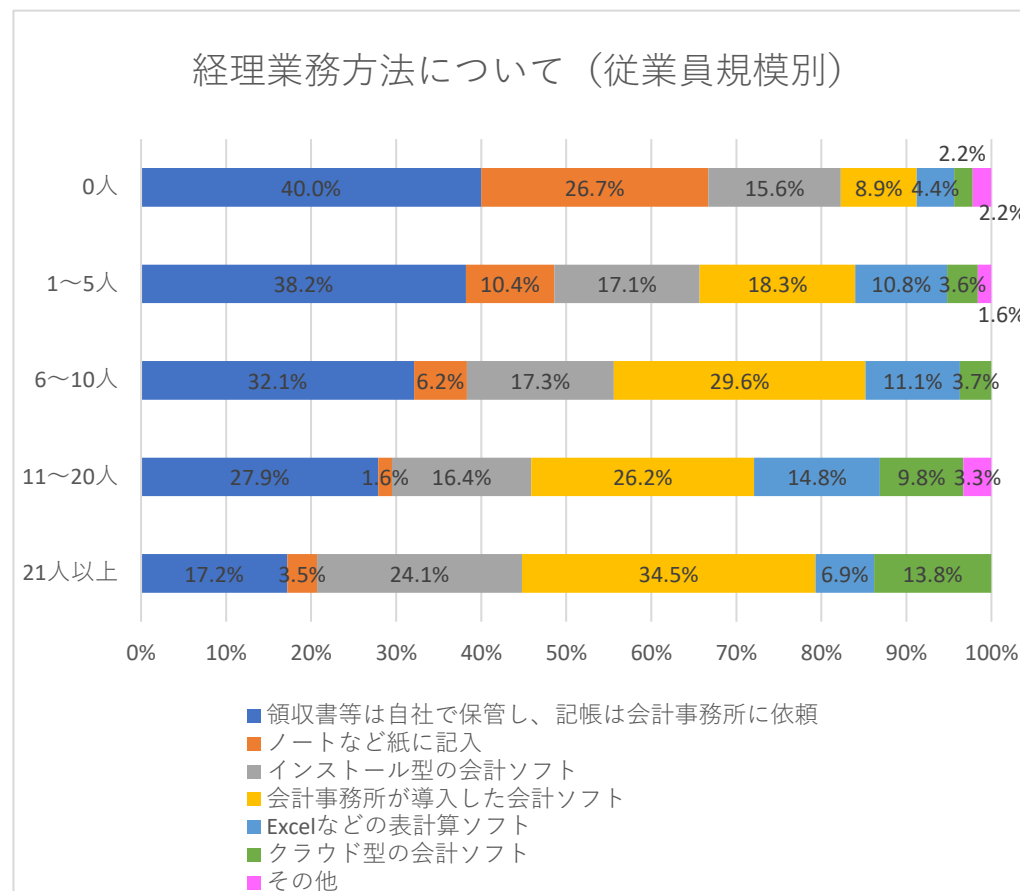
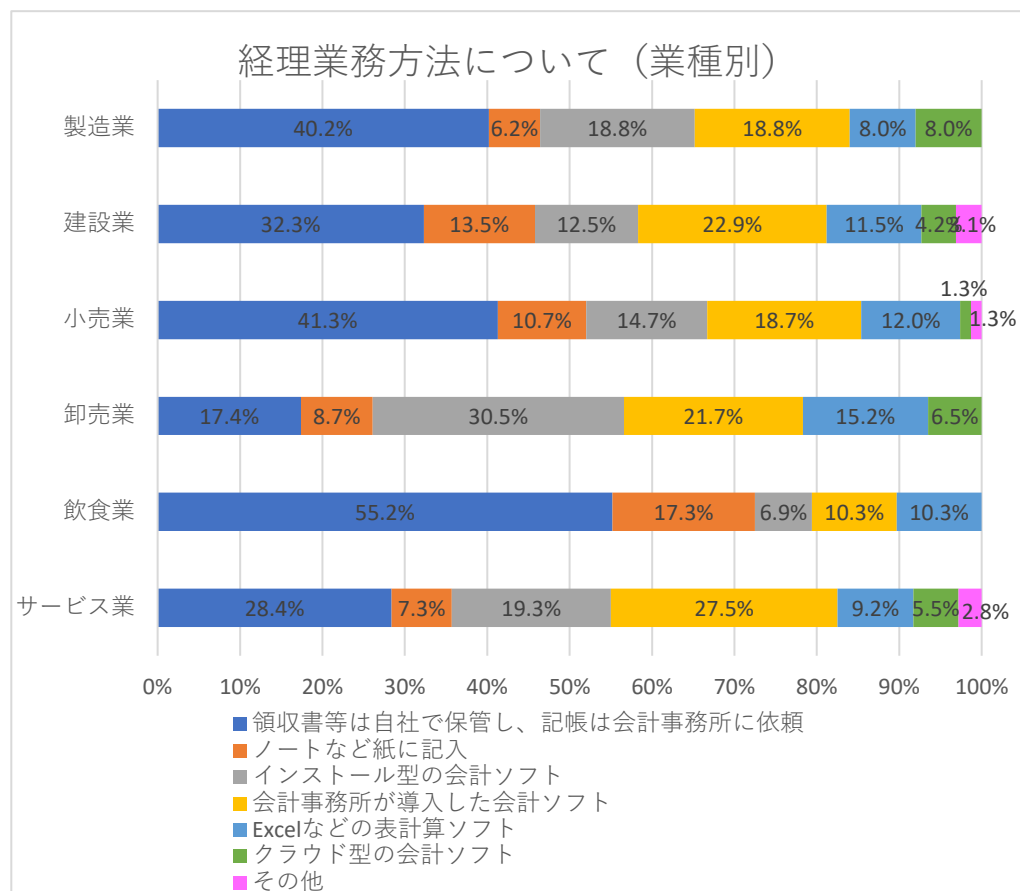
経理業務をどのように行っているかについて調査したところ、「領収書等は自社で保管し、記帳は会計事務所に依頼」が34.7%と最も多く、次いで「会計事務所が導入した会計ソフト」の利用が21.4%、「インストール型の会計ソフト」の利用が17.4%と続いた。一方で、常にシステムが更新され、POSレジやクレジットカードなどと連携して支払情報を自動で連結でき、税制改正にも柔軟に対応が可能な「クラウド型の会計ソフト」の利用事業所は4.9%とまだ利用率は低かった。



⑫経理業務の方法（その②）

業種別にみると、飲食業は「領収書などは自社で保管し、記帳は会計事務所に依頼」している事業所が55.2%と全業種の中で多く、「クラウド型の会計ソフト」を利用しているとの回答はなかった。本来であれば、POSレジと連携できるクラウド会計ソフトの利用が効果的な飲食業で最も利用が進んでいない状況が窺えた。

従業員規模別にみると、「領収書などは自社で保管し、記帳は会計事務所に依頼」は、経理担当の人員を配置しにくい、従業員規模が小さな事業所ほど割合が高くなった。尚、従業員数0人の事業所の会計ソフト導入率は全体の3割弱にとどまった一方で、従業員規模が大きくなるほど何らかの会計ソフトを利用しているとの回答割合が増加する傾向が見られた。

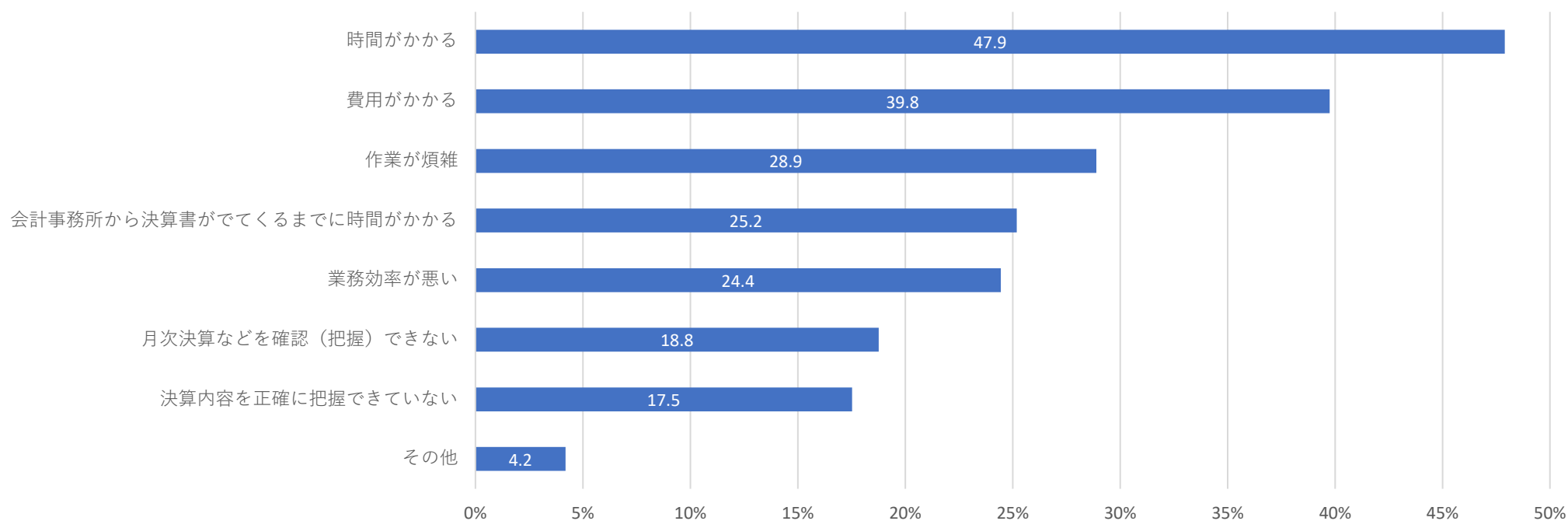


⑬経理業務における課題（その①）

【経理業務にかかる「時間」や「費用」が課題】

経理業務における課題では、「時間がかかる」が47.9%と最も多く、次に「費用がかかる」が39.8%と続いた。また、「費用がかかる」と回答した事業所は、前問の「⑫経理業務の方法」で「領収書等を自社で保管し、記帳は全て会計事務所に依頼」が46.6%、「会計事務所が導入した会計ソフトを利用」が24.2%となっており、会計事務所に業務を委託している事業所ほど「費用がかかる」との回答が多い傾向が見られた。

経理業務における課題



⑬経理業務における課題（その②）

業種別にみると、全ての業種で「時間がかかる」、「費用がかかる」が多い傾向にあり、業種に関係なくほぼ共通の課題を抱えていることが分かった。尚、建設業では「決算内容を正確に把握できていない」が30.2%、「月次決算などを確認（把握）できない」が27.9%と他業種と比べ課題として挙げる回答が多かった。

従業員規模別にみても全ての従業員規模で「時間がかかる」、「費用がかかる」多い傾向にあった。また、「決算内容を正確に把握できていない」との回答が、従業員数が11人以上になると回答割合が急激に減少し、21人以上の事業所では7.7%程度と従業員規模で差が見られた。

経理業務における課題（業種別）						
	製造業	建設業	小売業	卸売業	飲食業	サービス業
時間がかかる	52.0%	44.2%	53.0%	39.5%	68.0%	41.1%
費用がかかる	39.0%	24.4%	43.9%	42.1%	60.0%	45.6%
作業が煩雑	31.0%	29.1%	18.2%	36.8%	24.0%	32.2%
会計事務所から決算書が出てくるまでに時間がかかる	23.0%	27.9%	19.7%	28.9%	32.0%	25.6%
業務効率が悪い	31.0%	30.2%	18.2%	26.3%	12.0%	18.9%
月次決算などを確認（把握）できない	19.0%	27.9%	15.2%	5.3%	12.0%	20.0%
決算内容を正確に把握できていない	14.0%	30.2%	15.2%	7.9%	16.0%	15.6%
その他	3.0%	5.8%	3.0%	2.6%	4.0%	5.6%

経理業務における課題（従業員規模別）					
	0人	1～5人	6～10人	11～20人	21人以上
時間がかかる	47.5%	48.6%	52.1%	40.4%	46.2%
費用がかかる	32.5%	45.8%	27.4%	38.5%	38.5%
作業が煩雑	30.0%	25.7%	38.4%	26.9%	30.8%
会計事務所から決算書が出てくるまでに時間がかかる	10.0%	29.4%	24.7%	25.0%	15.4%
業務効率が悪い	12.5%	22.4%	31.5%	28.8%	30.8%
月次決算などを確認（把握）できない	10.0%	22.4%	12.3%	23.1%	11.5%
決算内容を正確に把握できてない	20.0%	18.7%	20.5%	11.5%	7.7%
その他	5.0%	4.2%	4.1%	5.8%	0.0%

⑭経理業務のデジタル化への関心

【デジタル化への関心度は高いが、取り組み方がわからない事業所多く】

経理業務のデジタル化については、「関心（興味）があるがよくわからない」が35.3%と最も多く、次に「既に取り組んでいるが、今後さらにデジタル化を進めたい」が21.3%、「新たに取り組みを検討している」が13.1%と続いた。この結果から、デジタル化に関心はあるものの、その取り組み方がわからず着手できていない事業所が多い一方で、さらなるデジタル化への取り組みや新たに取り組もうとする事業所も多いことがわかった。

業種別にみると、「関心（興味）があるがよくわからない」が建設業は47.9%、サービス業は37.0%となり、他業種と比べて回答の割合が高い結果となった。

従業員規模別にみると、従業員数が増えるほど、「既に取り組んでいるが、今後さらにデジタル化を進めたい」の割合が増える傾向があり、21人以上の事業所では半数の事業所がさらなるデジタル化への意欲を示す結果となった。

